平成11年度決算を認定

ごみ半減の達成などを要望

今定例会初日の本会議において平成十一年度の一般会計決算及び下水道事業特別会計決算を多数で、鎌倉都市計画事業大船駅東口市街地再開発事業特別会計決算など八特別会計を総員で認定しました。

【決算等審査特別委員会で審査】

これら十件の決算認定議案は昨年の十二月定例会で提案されました。議会では決算等審査特別委員会（以下、委員会。委員長＝吉岡和江議員）を設置し、十二月定例会中に二日間、委員会を開催しましたが、継続審査となり、その後、定例会閉会中の翌平成十三年一月二十一日から二月八日まで七日間にわたり審査を行いました。

委員会では予算の適正な執行がされ、期待した効果が上がったか、議会の予算審議において指摘した事項がどのように反映されたか、第三次鎌倉市総合計画実施計画の諸施策がどのように遂行されたかなどについて審査しました。

【意見二件を付して委員会の審査を終了】

審査の過程では担当部課への質疑を行ったほか決算に関連する重要な課題については市長、教育長にただしました。質疑終了後、採決を行った結果、一般会計歳入歳出決算及び下水道事業特別会計決算を多数で、鎌倉都市計画事業大船駅東口市街地再開発事業特別会計決算など八特別会計を総員により認定すべきとして審査を終了しました。

なお、委員会では勧奨退職制度とごみ半減化について意見を付することとしました。

【二月定例会において決算を認定】

今定例会において委員会の審査結果報告が委員長から行われました。報告に対する各会派からの討論が行われた後、採決の結果、各会計の決算を認定しました。

賛否の状況は次のとおりです。

◎一般会計…

【賛成】市政クラブ、公明党、ネットワーク・鎌倉、社会民主・市民会議、無所属

【反対】日本共産党、鎌倉同志会、無所属

◎下水道事業特別会計…

【賛成】鎌倉同志会、市政クラブ、公明党、ネットワーク・鎌倉、社会民主・市民会議、無所属

【反対】日本共産党

◎大船駅東口市街地再開発事業特別会計決算など八特別会計…

【賛成】総員

認定に当たり、付した意見の要旨は次のとおりです。

◇勧奨退職制度について

勧奨等退職職員の再就職のあっせんに関する要領及びその運用についての、これまでの議会における指摘（市退職職員の外郭団体への再就職の際、各団体での給与について職員退職時の給料を保証する属人的な制度であったこと、退職後の職員の他団体での勤務年数まで保証したことなどの問題点）、議会として監査請求を行なった結果、出された監査委員の意見を真しに受け止め、より明確で実効性のある勧奨退職制度の実現をめざすとともに、透明・公正な運用を十分に心がけるよう要望します。

◇ごみ半減化について

本市では平成八年に平成七年度のごみ焼却量実績である七万㌧を平成十七年度までに半減し三万五千㌧以下とするごみ半減計画を策定しました。

その後名越クリーンセンターをダイオキシン類削減対策工事の対象施設とし、今泉クリーンセンターの焼却施設を休止することからごみ半減の早期達成が急務となり、目標年度を十四年度に前倒しした新たなごみ半減計画を平成十二年二月に策定しました。しかし、平成十一年度末の実績から更に約一万五千㌧の減量が必要であるにもかかわらず、十一年度の可燃ごみの総排出量が増加し、減量化・資源化が鈍化している状況から、目標達成には相当の困難が予想されます。

ペットボトルの資源化の取り組み
（ペットボトル中間資源化施設）

より一層の取り組みの強化や徹底した計画の進行管理が求められています。

市民へのきめ細かい周知の努力を続け、市が市民の先頭に立って取り組む姿勢を明確に示し、不退転の決意で臨むことを要望します。

一般会計 特別会計 平成12年度補正予算を可決

IT講習用パソコン購入など

今定例会に平成十二年度一般会計補正予算及び下水道事業特別会計など六特別会計の補正予算が提出されました。審議の結果、一般会計補正予算を多数で、その他の議案を総員の賛成で原案を可決しました。

◇一般会計

補正の内容は歳入歳出いずれも一億七千百七十万円を追加するもので補正後の総額は五百二十五億一千六百万円となります。

歳出の主なものは次のとおりです。

議会費…議員報酬などの減額。

総務費…川喜多記念館建設等基金積立金、市議会議員選挙執行に要する経費、財政調整基金積立金などの追加。公共公益施設整備基金積立金、国勢調査に要する経費などの減額。

民生費…通所更正授産施設に要する経費、国民健康保険事業特別会計及び老人保健医療事業特別会計への繰出金などの追加。障害者福祉・高齢者福祉に要する経費などの減額。

衛生費…健康診査に要する経費の追加。保健衛生一般に要する経費、じんかい及びし尿処理に要する経費などの減額。

土木費…がけ地対策に要する経費の追加。下水道事業特別会計への繰出金などの減額。

消防費…緊急情報システム機器の維持管理に要する経費の追加。

教育費…御成小学校買い替えに要する経費、国のIT技能向上施策に伴うIT講習会用パソコン購入など環境整備に要する経費の追加。青少年施設に要する経費の減額。

公債費…長期債元金の追加と長期債及び一時借入金の支払利子の減額。

各特別会計の補正後の総額は次のとおりです。

◇下水道事業特別会計
九十八億七千九百三十万円

◇大船駅東口市街地再開発事業特別会計
三億九千二百十万円

◇国民健康保険事業特別会計
百十四億七千百六十万円

◇老人保健医療事業特別会計
百六十八億九千八百九十万円

◇公共用地先行取得事業特別会計
十三億六千五百六十万円

◇介護保険事業特別会計
五十億四千九百十万円

市長不信任決議を否決

議員への決議2件は可決

三月二十二日の本会議において議員から次の決議案が提出され、以下のとおり議決しました。

◇竹内市長に対する不信任決議

五名の議員から提出され、賛成少数で否決しました。

採決は地方自治法に規定する市長の不信任議決（可決には議員の三分の二以上が出席し四分の三以上の賛成が必要となります。不信任議決に対して市長は議会解散権を行使できます）として行い、出席議員は二十二名で在任議員二十七名の三分の二以上であったため、採決を行ったところ賛成者十四名で出席議員の四分の三（十七名）に達せず、原案を否決しました。

提案理由の要旨は平成十年二月定例会において市長辞職勧告決議が、平成十一年九月定例会には「市民健康ロード」を行政計画として策定した市長の姿勢を問う決議がそれぞれ可決されていること、また、市民農園問題や制度自体に多くの問題点を抱えたまま実施された勧奨退職者への再就職あっせん制度など市長の独善的な市政運営により弊害が噴出し、市民の信頼を失墜しており、市長としての適格性を疑わざるを得ないとしたものです。

◇助川邦男議員の政治資金の一部返却を求める決議

八名の議員から提出され、賛成多数で可決しました。

同議員が議長と建設常任委員歴任時に開発事業者などから政治資金を受け取っていたことについて、職責を考慮すればこれらの政治資金を返却することが公正かつ公明であるべき議員のとるべき態度であるとして一部返却を求めるとしたものです。

◇和田猛美議員に再度猛省を促すことに関する決議

十名の議員から提出され、多数で可決しました。

同議員が今定例会の議会運営委員会（以下、委員会）の陳情審査（平成九年の市長選挙における選挙違反事件に係る陳情）において行った発言などをめぐり、委員会の運営が混乱し、重大な支障をもたらしたこと。平成十年二月定例会の委員会で同事件の事実関係の調査を行った際も審議を混乱させたとして、問責決議が可決していること。また、市民から議長とともに議会運営委員長として公平な議会運営を求める決議を求める旨の陳情が出されるなど議員個人だけでなく、市民の議会に対する信頼を失墜させたとして再度猛省を促すとしたものです。提案理由説明、討論の後、同議員から委員会での質問には真しに答え、議会運営を混乱させていないなどとする旨の弁明があり、その後、採決が行われました。

音声版・点訳版「議会だより」のご案内

市議会では、定例会ごとに「議会だより」を発行し、議会での審議内容など議会活動の諸事項を皆さんにお知らせしておりますが、平成12年８月１日号より「議会だより」の音声版（収録テープ）と点訳版をボランティア団体のご協力により作成し、発行しています。ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

☎0467（23）3000　内線448番

議会のホームページを開設しています

議会の流れ、傍聴方法、請願・陳情の出し方、日程などをお知らせしています。今号５面の記事、議会運営検討会の答申内容も掲載していますのでご覧ください。

アドレス…http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm

いじめ、家庭内での暴力やひきこもりなど、子どもたちを取り巻く問題は新世紀になっても解消する気配はありません。相手を知らないこと、相手への恐れから先に攻撃する、おとしめる。これらの問題の根底はわたしたち大人の態度と無関係ではありません。相手の話を聞き、理解する。知らないことは恥ではなく知ろうとしないことが恥であるという言葉もありますが大人が身をもって範を垂れることが大事ではないでしょうか。

新年度予算を審議した二月定例会は任期最後の議会でした。議会活動を皆様にわかりやすくお伝えすることを使命と考え、編集してきましたが、今号はその総仕上げと考えています。

議会報編集委員会

委員長　藤田紀子
副委員長　岡田和則
委員　吉岡和江
委員　高橋浩司
委員　前田陽子
委員　澁谷廣美